

(別添3)

【七ヶ宿町】

校務DX計画

学校を取り巻くICT環境が急速に変化する中で、変化する時代を生きる子供たちに必要な力を育む学びの実現を目標とする「七ヶ宿町教育基本方針」において、校務DXへ向けた取組として、以下のとおり示している。

【優先事項】

6. 情報化やグローバル化が加速的に進むSociety5.0時代に向け、1人1台端末等のICT機器を積極的に活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させる。

本町では「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」による自己点検の結果等を踏まえ、以下の取組や検討を行い、校務DXを進める。

1. クラウドサービスの活用

(1) 現状及び課題

クラウドサービスについて、主に学習用として「Google Workspace for Education」を活用しており、学習用途でのクラウドサービスの活用は進みつつあるが、校務DX自己点検をみても校務処理でのクラウドサービス活用は一部業務での活用に留まっている。この要因としては、校務処理でクラウドサービスを活用しやすい環境が十分に整っていないことが考えられる。

(2) 課題解決に向けた取り組み

授業等におけるクラウドサービスの一層の活用を図りながら、校務処理におけるクラウドサービスの活用を積極的に進めていく。その際には「情報セキュリティポリシーの見直し」「クラウドサービスを活用しやすい環境の構築」に留意する。

2. FAX・押印等の従来型の業務の見直し及びペーパーレス化の推進

(1) 現状及び課題

FAXについては、ほぼ使用していない状況であり、押印についても業務上どうしても必要な書類以外は廃止している。ペーパーレス化については、各校とのやり取りをメールで行っているがまだまだ進んでいない状況である。

(2) 課題解決に向けた取り組み

学校取扱文書の洗い出しを行い、内容の機密性・業務フロー等の観点から、押印署名の必要性およびルールについて見直しを行う。また、効率性や緊急性、情報の機密性を踏まえた上で、紙またはFAXによる提出からメールやクラウド共有に移行し、ペーパーレスに向けた働きかけを、町教委と学校で協力して進めていく。

3. 校務支援システムへの名簿情報の不必要な手入力作業の一扫

(1) 現状及び課題

本町で導入している校務支援システムは、児童生徒の名簿等の情報入力を手作業で行うことも可能であるが、原則としてはCSV形式で作成した個人情報ファイルを取り込んで登録することとしている。

(2) 課題解決に向けた取り組み

個人情報ファイルの取扱いに十分留意し、今後も継続して行っていく。